

1 図書館のあゆみ

- 明治44（1911）年7月 ・ 東郷慎十郎氏等の寄付を基に、町立図書館として、鎌倉小学校（現在の第一小学校）内に設立
- 大正12（1923）年9月 ・ 関東大震災で倒壊のため閉館、のちに第一小学校の教室で再開
- 昭和11（1936）年5月 ・ 間島弟彦夫人愛子氏からの建設費寄付により、大町蔵屋敷の御用邸跡（現在の御成小学校）に新館設立（10月開館）
- 19（1944）年3月 ・ 軍に接收され閉館
- 21（1946）年6月 ・ 図書館再開
- 25（1950）年7月 ・ 図書館法施行にあたり、「鎌倉図書館」を「鎌倉市図書館」に改称
- 37（1962）年6月 ・ 団体貸出開始
- 45（1970）年6月 ・ 腰越貸出所開設
- 46（1971）年10月 ・ 資料の複写サービス開始
- 12月 ・ 大船子ども文庫開始
- 48（1973）年4月 ・ 深沢子ども文庫開始
- 49（1974）年10月 ・ 中央図書館開館（10月1日）
- ・ 中央図書館に視聴覚ライブラリー開設、16ミリ映写機類の貸出開始
- 12月 ・ 大船貸出所開設
- 50（1975）年11月 ・ 中央図書館で「おはなし会」開始、52年から全館で定期的実施
- 52（1977）年10月 ・ 視覚障がい者への録音図書郵送貸出サービス開始
- 55（1980）年5月 ・ 深沢図書館開館（深沢行政センター内）、深沢子ども文庫廃止
- 57（1982）年10月 ・ 大船図書館開館（大船行政センター内）、大船貸出所、大船子ども文庫廃止
- 61（1986）年8月 ・ 中央図書館でCD貸出開始
- 62（1987）年4月 ・ 玉縄図書館開館（玉縄行政センター内）
- 平成2（1990）年4月 ・ 中央図書館でビデオ貸出開始
- ・ 中央図書館に外国語図書コーナー開設
- 3（1991）年4月 ・ 祝日開館試行
- 6月 ・ 神奈川県図書館情報ネットワーク（KL-NET）加入
- 4（1992）年4月 ・ 祝日開館本実施
- 7（1995）年7月 ・ 市内全館コンピューターオンラインシステム導入
- 8（1996）年10月 ・ 夜間開館試行（平日の木・金曜日、17：00～19：00）
- 9（1997）年8月 ・ 大船図書館にAV（視聴覚）資料配置
- 11月 ・ 第1回「リサイクル図書展」開催（平成11年度から「図書リサイクル」に名称変更、平成18年度まで毎年1回開催）
- 10（1998）年2月 ・ 投書箱「利用者の声」設置
- 10月 ・ 藤沢市図書館との広域利用実施
- ・ 市のホームページに図書館のページを開設
- 11（1999）年3月 ・ 腰越図書館開館（腰越行政センター内）、AV資料配置
- ・ 夜間開館開始（平日の木・金曜日、17：00～19：00）
- 4月 ・ 「おひざにだっこのおはなしかい」各館で開催、以後定期的実施
- 7月 ・ 図書館所蔵資料のインターネット検索サービス開始
- 12（2000）年3月 ・ 「鎌倉市図書館サービス計画」策定
- 8月 ・ 玉縄図書館にAV資料配置
- 13（2001）年4月 ・ 定期休館日を月1回（毎月最終月曜のみ）とする：開館日の拡大
- 7月 ・ 「としょかんいんになってみよう！（一日図書館員）」開催始まる

- 8月・国立国会図書館総合目録ネットワークへの参加承認される
- ・深沢図書館にAV資料配置
- 9月・「鎌倉市図書館資料管理方針」が図書館協議会の討議を経て策定
- 11月・第一期「おはなしボランティア養成講座」開催
- 12月・市内各図書館にCD-ROM検索用パソコン導入
- 14 (2002) 年5月・JR鎌倉駅構内に返却ポストを設置
- 10月・中央図書館に検索用インターネットコーナーを設置
- 15 (2003) 年4月・各地域館に外国図書配置
- 7月・「図書館子ども会議」(子ども利用者懇談会)開催
- 10月・鎌倉女子大学との協力開始
- 16 (2004) 年3月・コンピューターシステム更新、携帯電話からの蔵書検索サービス開始、館内の検
索用端末(OPAC)からの予約受付開始等
- 4月・インターネットでの予約受付開始
- ・マンガの貸出開始
- 10月・DVD貸出開始
- ・「鎌倉市図書館資料管理基準」が図書館協議会の討議を経て策定
- 17 (2005) 年4月・子ども向け行事でのボランティアとの協働開始
- 7月・ブックスタート開始
- 12月・「図書宅配便」「障がいのある方への無料郵送サービス」開始
- 18 (2006) 年10月・地域図書館に検索用インターネットコーナーを設置
(腰越図書館のみ11月設置)
- 19 (2007) 年1月・中央図書館に「からだといのちの図書コーナー」を設置
- 4月・JR大船駅に返却ポスト設置
- 10月・オンラインデータベースの導入
- ・デジリーの郵送貸出開始
- 20 (2008) 年2月・中央図書館に「よむべえ」導入
- ・「鎌倉市子ども読書活動推進計画」策定
- 3月・中央図書館に多目的エレベーターの設置
- 4月・図書リサイクルコーナーを全館に設置
- 9月・図書館協議会市民委員の公募開始
- 10月・市民協働事業としてファンタスティック☆ライブラリー2008を開催
- 21 (2009) 年9月・図書の貸出点数を10冊に拡大
- 10月・コンピューターシステム更新
- 11月・「あかちゃんと楽しむおはなしかい」初開催、以後各館で年2回開催
- 22 (2010) 年7月・市内小・中学校教職員対象図書館実務研修開始
- 11月・デジリー再生機器「プレクストーク」貸出サービス開始
- 12月・高校生によるポップ大賞を選ぶイベントを開催
- ・電子図書館の実証実験実施(23年3月まで)
- 23 (2011) 年3月・東日本大震災:協働事業2件中止、夜間開館の一時中止
- 7月・鎌倉市図書館開館100周年記念式典開催
- 9月・ツイッター開始
- 10月・図書館振興基金条例交付、基金の募金活動開始
- 24 (2012) 年3月・百年史資料、所蔵貴重資料整理事業
- 4月・寄贈された政党新聞の閲覧開始
- 10月・「ぬいぐるみのおとまり会」初開催

- 12月 ・ 広告募集開始
- 25 (2013) 年 1 月 ・ 図書館福袋の貸し出し始まる
 - 2 月 ・ 「第二次鎌倉市子ども読書活動推進計画」策定
 - 5 月 ・ 暮らしのお役立ち講座@としょかん初開催
 - 6 月 ・ 本の修理講座開始 (中央図書館)
 - 10 月 ・ 大船図書館、耐震工事实施による部分開館 (翌年 2 月まで)
- 26 (2014) 年 3 月 ・ 国際ソロプチミスト鎌倉から読書活動推進のための軽自動車の寄付を受ける
 - 4 月 ・ 「第 2 次鎌倉市図書館サービス計画」策定
 - 7 月 ・ 国立国会図書館のデジタル化資料送信サービスを提供
 - 12 月 ・ 鎌倉国宝館連携講座開始
- 27 (2015 年) 3 月 ・ 図書館新システム稼動 (WEB リクエスト、デジタル化資料の公開等)
 - ・ マンガの予約受付開始
 - ・ 鎌倉市川喜多映画記念館連携講座初開催
 - ・ サイエンスカフェ初開催
 - ・ 団体貸出を廃止
 - ・ 国立国会図書館「レファレンス協同データベース」への多くのデータ登録に対し、国立国会図書館長より御礼状授与
 - 12 月 ・ 手話付きおはなしかい初開催
- 28 (2016) 年 3 月 ・ 利用者懇談会を開催
 - 7 月 ・ 図書館独自ネットワーク開設
 - 12 月 ・ 中央・腰越・玉縄図書館に入館者カウンター設置
- 29 (2017) 年 3 月 ・ 横浜市との相互利用開始
 - 4 月 ・ 深沢・大船図書館に入館者カウンター設置
 - ・ 試行による開館時間の変更 (6 月 1 日～ 8 月 31 日大船・玉縄図書館)
- 30 (2018) 年 2 月 ・ 第 3 次鎌倉市子ども読書活動推進計画策定

平成30年度のあゆみ

平成30年

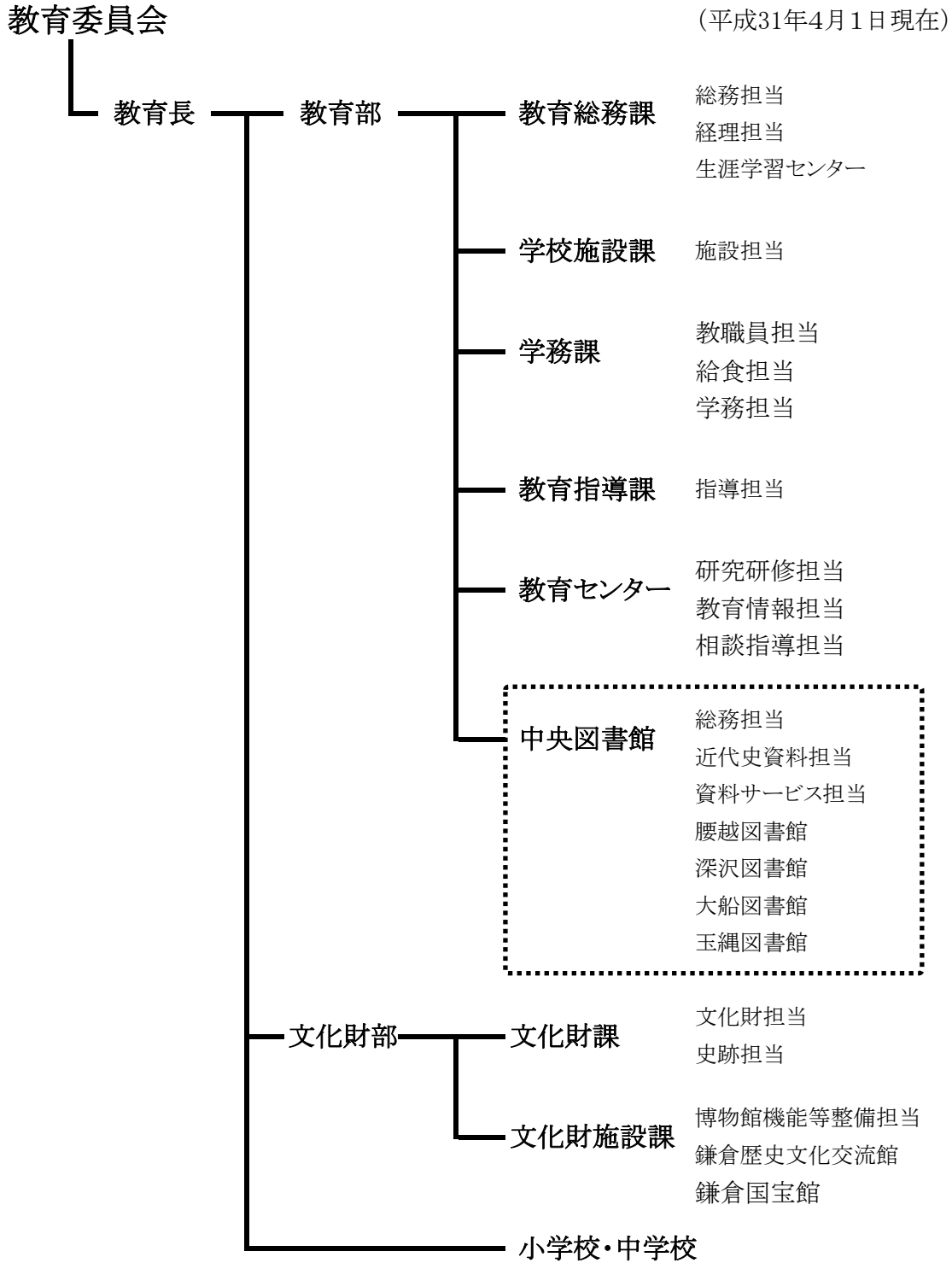
- 4 月 2 日 : 玉縄図書館外壁工事 (～ 5 月 12 日)
- 7 日 : 国宝館スペシャル「仏像入門 のぞいてみよう！ウラとワザ」 (共催 : 鎌倉国宝館) (中央)
- 23 日 : こどもの読書週間展示 (～ 5 月 12 日 各館)
- 5 月 30 日 : 展示「ブックカーニバル 鎌倉文士とゆかりの映画」 (～ 6 月 25 日 中央)
- 6 月 3 日 : 第 1 回利用者懇談会「つながる図書館」 (中央)
- 21 日 : 第 9 回本の海サポーターズ交流会 (深沢学習センター)
- 24 日 : 第 3 次鎌倉市子ども読書活動推進計画策定記念行事「すばらしい科学よみもの」
(共催 : 科学読物研究会) (中央)
- 29 日 : 子ども読書活動推進計画に関する連絡会議 (中央)
- 7 月 10 日 : 鎌倉市地下道ギャラリー展示 (～ 16 日)
- 18 日 : 平成30年度第 1 回図書館協議会 (中央)
- 29 日 : ぬいぐるみのおとまり会 (～ 31 日 中央)
- ・ としょかんいんになってみよう (一日図書館員) (8 月まで各日程、各館)
- 8 月 3 日 : 図書館懇談会 with キッズ! (玉縄)
- 5 日 : 展示「任務を超えてー諸国民の中の正義の人として表彰された外交官」
(協力 : 外務省/イスラエル大使館) (～ 26 日 中央)

- 23日：第2回利用者懇談会「ひろがる図書館」（中央）
：夏休み特別おはなしかい（各館）
- 9月 1日：試行による開館時間及び休館日の変更（～11月30日 中央・腰越）
8日：第3回利用者懇談会「100年図書館」（中央）
13日：大船図書館エレベーター工事（～19日）
21日：認知症にやさしい本棚を設置（各館）
- 10月 4日：ファンタスティック☆ライブラリー107として様々な行事を開催（～11月10日 各館）
16日：本のポップ大賞展示（11月まで 各館）
27日：川喜多アワー「ミステリー映画の系譜」（中央）
：職場体験受入（各館）
- 11月 1日：平成30年度第2回図書館協議会（中央）
10日：玉縄図書館が玉縄まつりに出展（玉縄小学校）
27日：おなかのあかちゃんと楽しむおはなしかいを初開催（大船）
：おはなしボランティアSTEP UP講座（5年毎のフォローアップ研修）（全4回中央）
- 12月 冬休み特別おはなしかい（各館）
- 平成31年
- 1月 27日：国宝館スペシャル「没後800年記念 源実朝とその時代」（共催：鎌倉国宝館）（中央）
30日：平成30年度第3回図書館協議会（中央）
- 2月 14日：おはなしボランティアステップアップ講座（深沢学習センター）
15日：玉縄図書館エレベーター工事（～3月22日）
23日：神奈川県行政書士会コラボ企画 暮らしのお役立ち講座@としょかん
「現場から見た「終わりなき空家問題」の本質と対策」（中央）
28日：新春！鎌倉図書館寄席（共催：明治大学落語研究会）（中央）
- 3月 3日：展示「鎌倉駅伝と金栗賞朝日マラソン」（～31日 中央）
5日：平成30年度第4回図書館協議会（中央）
20日：16ミリ映写機操作技術認定講習会（中央）
23日：市民協働事業「あつまれ！広町さつえい隊」（協力：広町の森市民の会）（腰越）
23日：講座「作家の見た鎌倉～北鎌倉・大船方面」（共催：鎌倉文学館）（中央）
：「鎌倉市図書館ビジョン」「第3次鎌倉市図書館サービス計画」を策定

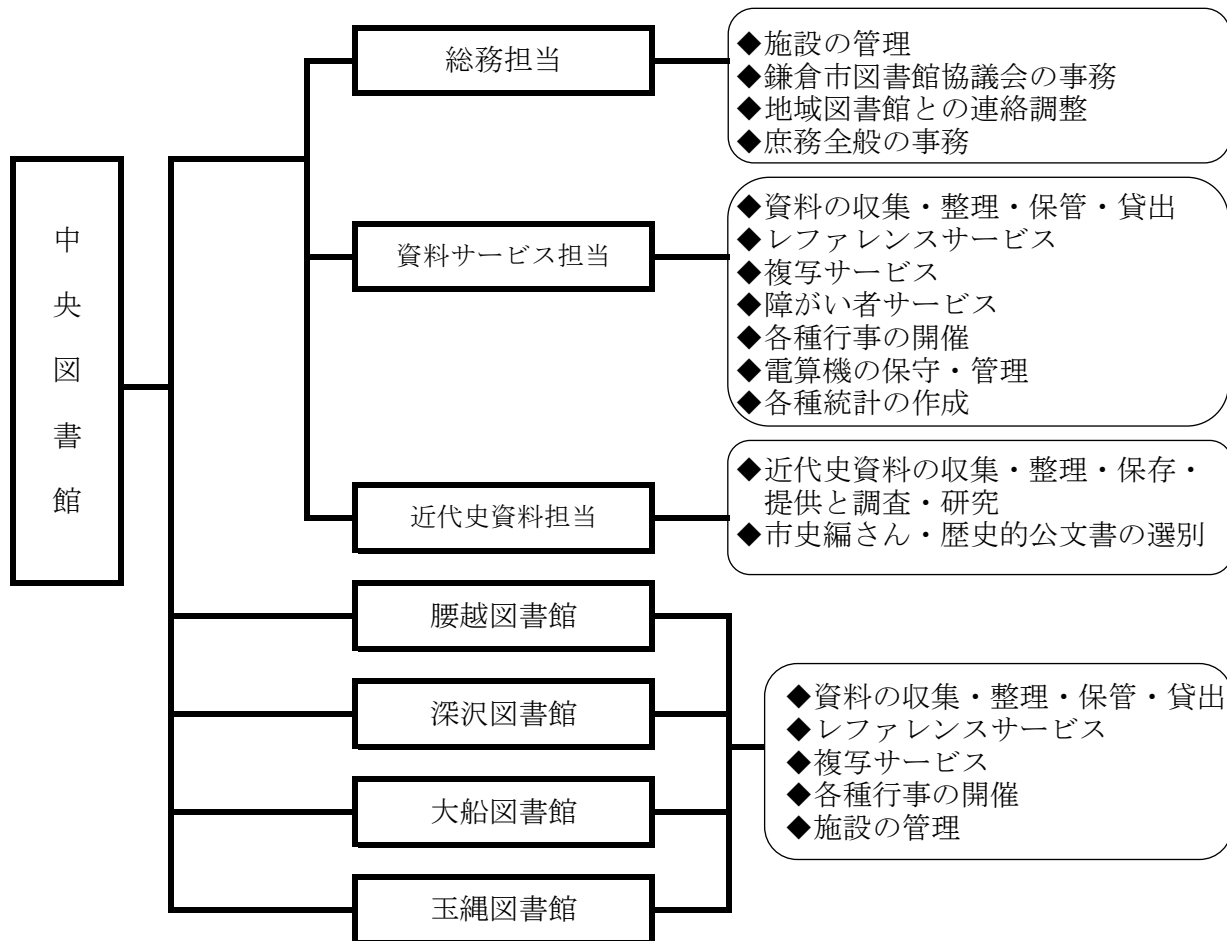
2 機 構

(1) 教育委員会機構図

図書館は、市長とは独立した執行機関である教育委員会教育部に属する機関です。



(2) 図書館の組織・主な事務内容



(3) 図書館職員

(平成31年4月1日現在)

	職 員	嘱 託 員
中央図書館長	1人	
総務担当	3人	1人(総務課付)
資料サービス担当	8人(1) + [再1]	13人(うち専門業務2)
近代史資料担当	1人 (資料サービス担当と兼務)	5人 (うち近代史1、総務課付2、 歴史的公文書2)
腰越図書館	3人	6人
深沢図書館	3人	5人
大船図書館	4人 (うち玉縄図書館と兼務1)	6人
玉縄図書館	2人	8人(うち専門業務2)
計	23人(1) + [再1]	44人

*資料サービス担当中、(1)は育児休業中の職員が1人、うち数。[再1]は再任用職員が1人。
 近代史資料担当は資料サービス担当のうちの1人と兼務。
 大船図書館は玉縄図書館のうちの1人と兼務。
 職員のうち司書有資格者18人。図書館専門業務嘱託員は司書有資格者。
 図書館業務嘱託員総数のうち司書または司書補有資格者は32人。

(4) 図書館内各種委員会

鎌倉市図書館では、各種サービスや運営方法を各種委員会で検討・実施しています。

① 館長会議

図書館運営に関わる決定機関です。各種会議の報告や各館の情報交換も行っています。市内5館の館長及び係長以上の職員で構成されています。

② 児童奉仕委員会

0歳からの子どもと、子どもを取り巻く大人へのサービス全般を担当しています。

- ・おはなし会、おひぎにだっこのおはなしかい、あかちゃんと楽しむおはなし会の定例行事を開催しています。
- ・小学生向けの「なつやすみにおすすめのほん」のリストを作成しています。
- ・年齢別におすすめする本のリストを作成・発行・配布しています。
- ・学校との連携を進めています。おはなし会、ブックトークなどの訪問サービスや教職員・PTAが主催する講座、研修会に講師を派遣する等、講座・講演会を実施しています。
- ・市の関連課と連携してブックスタート事業を実施しています。
- ・子どもへのサービスをより充実させるため、ボランティアを養成しています。

③ 資料管理委員会

図書・雑誌・新聞・AV等の資料の管理を行う委員会です。

- ・「鎌倉市図書館資料管理方針」（平成13年9月）および「鎌倉市図書館資料管理基準（平成16年10月・22年4月一部改定）」に基づき、資料の収集・保存・除籍等の基準の策定、見直し、管理を行います。
- ・雑誌・新聞の新規購入・寄贈受入・中止について検討をします。

④ 運用委員会

よりよい図書館サービスのため、サービス提供の方法等を検討する委員会です。

- ・貸出・登録・予約等のサービスやカウンター業務がスムーズに行われるように運用方法を検討します。
- ・「図書館の自由」に関わる問題が起きたとき、対応を検討します。
- ・個人情報保護の側面から図書館業務を検討します。

⑤ PR委員会

より図書館に親んでもらうため、広報活動を行う委員会です。

- ・館報「かまくら図書館だより」や「テーマ別本のリスト」を編集・発行しています。
- ・図書館利用を促進するための配布物の作成、行事の企画・実施をしています。
- ・ホームページ、ツイッターの企画・更新をしています。

⑥ YA委員会

ヤングアダルト（10代）層に図書館や本に親んでもらうための企画を立案・実施する委員会です。

3 図書館協議会

図書館協議会は、図書館の管理運営に関し図書館長の諮問に応ずるとともに、図書館の行う図書館サービスについて館長に意見を述べる機関です。

図書館法の定めにより設置され、社会教育関係者、学校教育関係者、学識経験者、家庭教育の向上に資する活動を行う者、市民公募による者の5名で構成されています。

開会日時	主な審議・報告事項等
平成30年 第1回 7月12日(木) 10:00～12:00	<ul style="list-style-type: none"> ・鎌倉市図書館振興基金による資料の購入について（審議） ・平成30年度図書館事業の予算について（報告） ・鎌倉市図書館ビジョンについて（審議） ・第3次鎌倉市図書館サービス計画の策定について（諮問）
第2回 11月1日(木) 10:00～12:00	<ul style="list-style-type: none"> ・中央図書館及び腰越図書館における開館日及び時間帯変更の試行の途中経過について（報告） ・鎌倉市図書館のビジョン（案）について（審議） ・第3次鎌倉市図書館サービス計画（素案）について（審議）
第3回 平成31年（2019年） 1月30日(水) 10:00～11:00	<ul style="list-style-type: none"> ・中央図書館及び腰越図書館における開館日及び時間帯変更の試行の報告について（報告） ・鎌倉市図書館のビジョン（案）の策定について（審議） ・第3次鎌倉市図書館サービス計画（案）について（審議）
第4回 3月5日(火) 10:00～12:00	<ul style="list-style-type: none"> ・鎌倉市図書館のビジョン（案）について（報告） ・第3次鎌倉市図書館サービス計画（案）について（報告） ・鎌倉市図書館の事業における平成30年度の重点事業とその成果及び平成31年度の重点事業について（審議） ・平成31年度以降の鎌倉市図書館の運営体制について（審議）

委員名簿（定数5名）

任期	氏名	職業又は役職	選出区分
平成28年12月16日 ～ 平成30年12月15日	鍛治 哲郎	鎌倉女子大学教授	学識経験者
	高村 清美	鎌倉市立第二小学校	学校教育関係者
	梨本 加菜	鎌倉女子大学准教授	社会教育関係者
	杉山 恵子	鎌倉市図書館おはなしボランティア	家庭教育の向上に資する活動を行う者
	中村 七海	市民	市民公募

任期	氏名	職業又は役職	選出区分
平成30年12月16日 ～ 令和2年12月15日	鍛治 哲郎	鎌倉女子大学教授	学識経験者
	千 錫烈	関東学院大学准教授	社会教育関係者
	高村 清美	鎌倉市立第二小学校	学校教育関係者
	杉山 恵子	鎌倉市図書館おはなしボランティア	家庭教育の向上に資する活動を行う者
	小原 尚子	市民	市民公募

4 鎌倉市図書館一覧

	中央図書館	腰越図書館	深沢図書館
所在地	御成町20-35	腰越864 (腰越行政センター内)	常盤111-3 (深沢行政センター内)
電話	25-2611	33-0711	48-0022
FAX	FAX 24-6544	FAX 設置なし	FAX 43-5676

開館年月	旧：1911(明治44)年 7月 新：1974(昭和49)年 10月	1999(平成11)年 3月	1980(昭和55)年 5月
------	---------------------------------------------	-------------------	-------------------

対象地域人口 平成31年 4月1日現在	46,333人	23,964人	33,655人
---------------------------	---------	---------	---------

面 積	一般コーナー	575 m ²	240 m ²	380 m ²
	児童コーナー	143 m ²	130 m ²	126 m ²
	ブラウジング コーナー	56 m ²	35 m ²	42 m ²
	AVコーナー	58 m ²	30 m ²	—
	地下書庫	314 m ²	92 m ²	168 m ²
延床面積(その他含)		2,576 m ²	684 m ²	820 m ²

閱 覧 席	一般	104席	16席	12席
	児童	18席	13席	6席
	その他	11席	30席	24席
	計	133席	59席	42席

※その他…ソファ、長イスなど

大船図書館	玉縄図書館	計
大船2-1-26 (大船行政センター内)	岡本2-16-3 (玉縄行政センター内)	
45-7710 FAX 設置なし	44-2218 FAX 設置なし	

1982(昭和57)年
10月

1987(昭和62)年
4月

43,555人

24,814人

172,321人

190 m ²
135 m ²
40 m ²
8 m ²
—
462 m ²

224 m ²
123 m ²
72 m ²
—
—
512 m ²

1,609 m ²
657 m ²
245 m ²
96 m ²
574 m ²
5,054 m ²

6席
12席
20席
38席

19席
12席
22席
53席

155席
61席
106席
322席

5 平成30年度図書館費

(1) 予算・決算(含む令和元年度予算)

単位：千円

	平成30年度 (当初予算)	平成30年度 (決算)	令和元年度(2019年度) (当初予算)
一 般 会 計	59,683,434	58,839,620	61,239,000
教 育 費	5,579,180	6,294,554	6,580,090
社 会 教 育 費	1,684,788	1,582,802	1,799,339

図 書 館 費		143,935	142,332	152,613	
内 訳	報 酬	57,742	57,762	60,132	
	賃 金	306	305	317	
	報 償 費	10	2	10	
	旅 費	3,637	2,866	3,539	
	需 用 費	36,967	35,950	36,770	
	内 訳	消 耗 品 費	28,760	28,712	28,650
		燃 料 費	903	1,163	1,240
		印 刷 製 本 費	238	209	10
		光 熱 水 費	5,670	4,585	5,460
		維 持 修 繕 料	1,220	1,154	1,220
		備 品 修 繕 料	108	108	110
		車 輛 修 繕 料	68	19	80
	役 務 費	3,704	3,352	3,498	
	内 訳	電 信 料	2,001	1,651	1,779
		運 搬 料	81	80	81
		手 数 料	1,540	1,540	1,555
		保 険 料	82	81	83
委 託 料	15,319	14,544	20,855		
使 用 料 及 び 借 入 料	22,380	22,400	22,582		
備 品 購 入 費	432	432	172		
負 担 金 補 助 及 び 交 付 金	86	86	86		
賠 償 金	0	856	0		
積 立 金 (図 書 館 振 興 基 金)	3,352	3,777	4,652		
公 課 費	0	0	7		

予算の主な内訳

- 一般会計： 鎌倉市全体の予算
 - 報酬： 図書館協議会委員・各館の図書館業務嘱託員への報酬など
 - 報償費： 図書館行政協力者への謝礼など
 - 需用費： 予算一覧表内訳のとおり
 - 消耗品費： この中に図書館資料（本・雑誌・新聞・AV資料）や、文具類の購入費が含まれます
 - 印刷製本費： 写真資料の複写・バーコードラベルの印刷費など
 - 役務費： 予算一覧表内訳のとおり
 - 手数料： 図書館建物の維持管理のための経費。各種機器の保守点検など
 - 使用料及び賃借料： 主に図書館の全コンピューターシステム稼働の費用
 - 負担金補助及び交付金： 日本図書館協会や神奈川県図書館協会の分担金など
 - 積立金： 鎌倉市図書館振興基金への積立金など（寄附金額）
- ※ 図書館費には、一般職員の給料、職員手当などは含まれていません。

(2) 資料購入費

図書館の予算のうち、資料購入費は次のとおりです。

図書館資料には、図書のほか雑誌、新聞の購入費等を含みます。

単位：円

		平成30年度		令和元年度(2019年度)
		当初予算	決算	当初予算
中央図書館	図書資料費	19,670,817	19,902,589	19,250,786
	AV資料費	100,000	6,478	100,000
	計	19,770,817	19,909,067	19,350,786
腰越図書館	図書資料費	1,705,218	1,689,807	1,761,024
深沢図書館	図書資料費	2,101,301	1,990,254	2,123,812
	(うち学校貸出)	(450,000)	(470,064)	(450,000)
大船図書館	図書資料費	1,784,580	1,716,127	1,841,073
玉縄図書館	図書資料費	1,628,472	1,655,335	1,736,769
全館計	図書資料費	26,890,388	26,954,112	26,713,464
	(うちデータベース賃借料)	(781,488)	(781,788)	(788,724)
	AV資料費	100,000	6,478	100,000
	計	26,990,388	26,960,590	26,813,464

※平成27年度から、新聞、雑誌、学校貸出等一部を除き、中央図書館での集中執行。

※平成30年度予算のうち、図書館振興基金購入品の差額12,528円は基金に戻入。

サピエ図書館加入に伴うデータ使用料として20,000円を賃借料に流用しています。

従って、予算現額は26,957,860円となり、実質は2,730円多く執行となっています。

6 平成30年度の主な事業実施報告

【新規事業】

1 第3次図書館サービス計画の策定

ア 第2次鎌倉市図書館サービス計画の最終年度として計画全体の進捗状況の把握と反省点について検討しました。

イ 第3次鎌倉市図書館サービス計画の策定にあたり、4回の利用者懇談会の開催や、アンケート、図書館サービス計画素案へのパブリックコメントの募集等、市民参画を図りました。

(ア) 無作為抽出での市民アンケートへは874件、館内での利用者アンケートには1,279件の回答を得ることができ、図書館サービスへの満足度、課題等を知ることができました。

(イ) 14名から77項目へのパブリックコメントをいただきました。サービス計画に反映させ、いくつかのものは今後の運営のための参考としました。

ウ 資料管理の強化（地域資料の収集・提供の組織化、資料管理方針の改訂の準備）を検討しました。

- *サービス計画 方針Ⅰ 図書館は生涯学習の拠点—3 資料・情報の提供
 - (1) 資料・情報提供（貸出・閲覧）—ア 選書、収集方針
- *サービス計画 方針Ⅱ 鎌倉ならではの図書館—2 図書館からの情報発信
- *サービス計画 方針Ⅲ 市民とともに創る図書館—1 市民参画と協働

2 地域図書館の発信力強化

ア 地域活動の発信拠点として、地域の活性化に役立つ資料と場所の提供に努めました。

イ 地域を知るための資料のリストを作成しました。

ウ ファンタスティック☆ライブラリーで、地域の写真やパネルを展示しました。

エ 玉縄図書館や腰越図書館で、地域の市民団体と連携してイベントを実施しました。

- *サービス計画 方針Ⅲ 市民とともに創る図書館—1 市民参画と協働

3 図書館サービスの市民への見える化

ア 図書館の実績、便利なサービス、役割を広く伝えるよう努めました。

イ 図書館ホームページからの積極的な情報発信に努めました。

- *サービス計画 方針Ⅱ 鎌倉ならではの図書館—2 図書館からの情報発信
 - (2) 図書館運営の情報公開

4 高齢者支援

ア 平成30年9月21日より、市内全図書館に認知症にやさしい図書コーナーを設置、地域の関係団体・施設・企業とのネットワークの活用によりPR効果を高めることができました。

イ 大活字本や朗読CD等音声資料の充実に努めました。

- *サービス計画 方針Ⅰ 図書館は生涯学習の拠点—2 利用者に応じた読書の支援
 - (3) 高齢者支援

- *高齢者保健福祉計画

※「サービス計画」はすべて第2次鎌倉市図書館サービス計画を指す。

5 図書館の利用に障害がある方への支援

- ア サピエ（厚生労働省補助事業「視聴覚障害者情報提供ネットワークシステム整備事業」）に加入し、サピエ加盟施設とのD A I S Y等の資料の相互貸借ができるようになりました。
- イ 来館しづらい方への、サービスポイント拡充として、市内公共施設等の協力等検討しましたが、課題も多く、第3次鎌倉市図書館サービス計画への持ち越し課題となりました。

- *サービス計画 方針Ⅰ 図書館は生涯学習の拠点—2 利用者に応じた読書の支援
 - （4）図書館の利用に障がいのある方に対する支援
 - ア 図書館の利用に障がいのある方への支援

6 職員研修の体系化

- ア 職場研修では日々のカウンター業務についての運用研修とレファレンス研修を継続して行いました。
- イ 新任専門嘱託員に神奈川県立図書館基礎研修を受講させました。
- ウ 神奈川県図書館協会主催の各研修を、ほぼ毎回一人は受講するように努めました。

- *サービス計画 方針Ⅲ 市民とともに創る図書館
 - 5 市民の活動を支える職員の配置と研修

【継続事業】

7 地域状況に沿った利用しやすい開館日、開館時間の試行

- ア 中央図書館・腰越図書館で9～11月に、木・金曜日を除く全ての開館日で18時まで開館、平日月曜休館等の試行を行いました。来館者数や貸出数、来館者アンケート集計と分析を行い、より利用しやすい時間帯を検討しました。

- *サービス計画 方針Ⅰ 図書館は生涯学習の拠点—1 図書館ネットワークの構築
 - （2）開館日及び開館時間の効果的な設定

8 第3次鎌倉市子ども読書活動推進計画の推進

- ア 妊婦向けおはなし会を初めて開催しました。
- イ おすすめ本のポップを募集するポップ大賞に最多の応募がありました。
- ウ よみものパックを追加し、多くの利用があり、また事務の省力化につなげました。
- エ 訪問サービスや子どもたちに関わる保護者への講座を継続して行いました。
- オ 多文化サービスとして、英語・フランス語・フィリピン語などのおはなし会を行いました。
- カ 学校図書館専門員・読書活動専門員への講座をおこない、学校図書館の利用支援を行いました。
- キ おはなしボランティアステップアップ講座をおこない、ボランティアのスキルアップを推進しました。

- *サービス計画 方針Ⅰ 図書館は生涯学習の拠点—2 利用者に応じた読書の支援
 - （1）子どもの読書環境の推進

- *第3次鎌倉市子ども読書活動推進計画

9 鎌倉に関するデジタル資料の制作と発信

- ア 図書館振興基金により購入した地域資料「倭国一覧路の記」をデジタル化し、ホームページ上で公開しました。

- *サービス計画 方針Ⅱ 鎌倉ならではの図書館—2 図書館からの情報発信

※「サービス計画」はすべて第2次鎌倉市図書館サービス計画を指す。

7 令和元年度（2019年度）の重点事業

【新規事業】

1 近代史資料の保存環境整備

将来の資料公開に備え、保存環境整備に着手します。

＊サービス計画 方針Ⅲ 100年図書館

— 1 鎌倉らしいコンテンツの製作と発信—（4）近代史資料担当

2 図書館ホームページの刷新（システム更新含む）

システム更新を機に、さらにわかりやすく使いやすいホームページにします。

＊サービス計画 方針Ⅰ つながる図書館

— 1 図書館ネットワークの構築—（3）情報通信技術の活用

3 「鎌倉市図書館資料管理方針」「鎌倉市図書館資料管理基準」の改定

図書館の蔵書構築の基本となる資料管理基準と資料管理方針を時期に応じたものに改定します。

＊サービス計画 方針Ⅰ つながる図書館

— 3 資料・情報の提供—（1）選書・収集方針

4 市民が利用しやすい運営体制の確立

令和2年度（2020年度）の会計年度任用職員制度の導入を受け、持続可能な運営体制を構築します。（開館日・開館時間の変更、持続可能な職員体制の構築、会計年度任用職員の導入等）

＊サービス計画 方針Ⅰ つながる図書館— 1 図書館ネットワークの構築

—（2）開館日及び開館時間の効果的な設定

＊サービス計画 方針Ⅲ 100年図書館— 4 市民の活動を支える職員の育成

【継続事業】

1 地域図書館の発進力の強化

地域図書館の活動を通じた地域との連携と地域資料の充実を進めます。

＊サービス計画 方針Ⅱ ひろがる図書館— 2 市民とともに

—（1）市民参画と協働、（2）市民の声を活かす仕組み

2 誰にでも使いやすい図書館へ

誰にでも使いやすい図書館を目指します。

＊サービス計画 方針Ⅰ つながる図書館

— 2 利用者に応じた読書の支援—（4）図書館を利用

＊サービス計画 方針Ⅲ 100年図書館— 3 施設・設備の充実

3 「第3次鎌倉市子ども読書活動推進計画」の推進

＊サービス計画 方針Ⅰ つながる図書館

— 2 利用者に応じた読書の支援—（1）子どもの読書活動の支援

＊第3次鎌倉市子ども読書活動推進計画

※「サービス計画」はすべて第3次鎌倉市図書館サービス計画を指す。